

1996.10.6

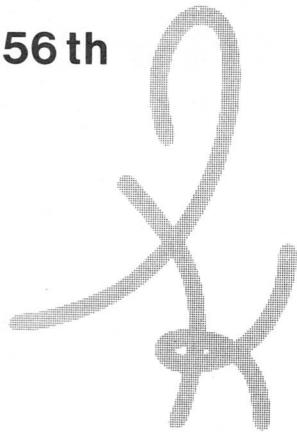
平成8年市川市文化祭

合唱の集い

1996年

10月6日(日) 2時開演
市川市文化会館大ホール

256th



主催 市川市教育委員会 市川交響楽団協会

プログラム

行徳混声合唱団

指揮 村上 正治

混声合唱組曲

「富士山」

草野心平 作詞 多田武彦 作曲

- I. 作品第壹 イチ
- II. 作品第肆 シ
- III. 作品第拾陸 ジュウロク
- IV. 作品第拾捌 ジュウハチ
- V. 作品第貳拾壹 (宇宙線富士) ニ・ジュウイチ

コール・シュティム×

四つの女声合唱曲

- 1. 琴の音かよえば (ルベルティ原詞)
- 2. いざや来れ死 (シェークスピア原詞)
- 3. 園丁 (アイヒェンドルフ原詞)
- 4. フィンガルの歌 (オシアン原詞)

指揮 橋本 久喜
ピアノ 橋本 節子
ホルン 角谷 昌昭
宮内 寛之
J. ブラームス 作曲

市川混声合唱団

指揮 村上 正治
ピアノ 鈴木 珠美

混声合唱組曲

「心の四季」

吉野弘 作詞 高田三郎 作曲

- 1. 風が
- 2. みずすまし
- 3. 流れ
- 4. 山が
- 5. 愛そして風
- 6. 雪の日に
- 7. 真昼の星

———— 休憩 ————

全員合唱

里の秋

福栄中学校合唱部

指揮 山川 順子
ピアノ 吉岡 里紗

“なつかしいうた”より

「木曽節」 (長野県民謡)
「こきりこ」 (富山県民謡)
「さくら」
「うさぎの耳」

荻久保和明 編曲
荻久保和明 編曲
御木白日 作詞 大熊崇子 作曲
林 光 作詞 作曲

合同演奏

指揮 村上 正治
ピアノ 鈴木 珠美
合唱 市川混声合唱団
行徳混声合唱団
コールシュティムメ
弦楽合奏 市川交響楽団

混声合唱曲

「光」

大江満雄 作詞 村上正治 作曲

モテット

「イエスよ、わが喜び」作品227

J. S. バッハ作曲

- ・イエスよ、わが喜び
- ・キリストに結ばれている者は、今や罪に定められることはない
- ・あなたの御加護のもとにあって
- ・主の御靈の法則が罪と死からあなたを解放したからです
- ・年老いた龍にたちむかい
- ・神の靈があなたの内に宿っているかぎり
- ・すべての宝よ去れ、イエスよ、あなたこそ、わが生き甲斐よ
- ・もしキリストがあなたの内におられるなら
- ・おやすみ、世の選びとりしものよ
- ・もし、イエスを死者の中から甦らせた者は
- ・退け、悲しみの靈たちよ

プロフィール



むら かみ まさ はる
指揮 村上正治

君津郡袖ヶ浦町（現・袖ヶ浦市）横田出身の牧師である村上 治氏の長男として、1914年に新潟県村上町で誕生。1935年国立音楽大学作曲部に入学、卒業後は市川小を初め中央国民学校や市川高女、市川一中、市川二中に勤めながら市川文化会や市川混声、市響、市響吹奏楽、ジュニアオケ、行徳混声を結成して指導に当る。県音楽教育研究会や全千葉合唱連盟、県吹奏楽連盟、千葉交響楽団協会、県及び市川市の両芸術文化団体協議会、日本アマチュアオーケストラ連盟、全日本文化団体連合会等をも組織し文化振興に貢献している。市川市教育委員会、千葉県教育委員会、千葉県知事、文化庁長官より各文化功労賞を受賞し、87年秋、勲四等瑞宝賞を受賞。92年4月には第1号の市川市民栄誉賞を受賞した。

現在国立音楽大学の評議員、全国文化団体連合会会长、（法）日本アマチュアオーケストラ連盟副会長。



すず き あけ み
鈴木珠美 (ピアノ)

国立音楽大学ピアノ科卒業。

故クロイツァー豊子、篠井 寧子、村松 庸子の各氏に師事。第20回家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。サントリー小ホール、津田ホールでのコンサート（同事務所主催）に出演。国立音楽大学同調会千葉県支部コンサート、市川市少年自然の家主催「プラネタリウム・コンサート」、千葉県高等学校教員演奏会、市川オペラ振興会主催「市川オペラコンサート」等に出演。

またソロ以外にも、市川混声・行徳混声の両団をはじめ、市川オペラ振興会コレペティトゥア、市川市民合唱団など地域の音楽活動にも積極的に参加している。

96年12月20日、津田沼ホールでの「家永ピアノコンサート」に出演予定。

演奏会のご案内

第257回市響 市川市文化祭

ファミリー交響楽コンサート

平成8年12月22日(日) 2時開演 市川市文化会館大ホール 入場無料

指揮 石本由香利 ヴァイオリン独奏 豊田弓乃

管弦楽 市川交響楽団

曲目 フンパーディンク／歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲

ベートーヴェン／バイオリン協奏曲二長調

ホルスト／組曲「惑星」より

問い合わせ 0473(72)0258 (横田)

本日の出演者

市川混声合唱団

ソプラノ	石黒 淳子 北島 熙子 早野 文子	榎本 邦子 武井 みさ 前原 敏子	大坂 正美 塚本 恵子 山本 桂子	蛟野 侑子 中野 かよ	亀尾 真理 野上 恵子
アルト	明戸 啓子 白取 博子 馬淵 明子	漆原 由美 田辺 育	大塚美千代 内藤富士子	小高 松子 根津 敏江	小松崎幸子 松丸美恵子
テノール	井関 裕義	漆原 雅之	遠藤 實	金田 輝夫	篠田 要衛
ベース	榎本 貞次	熊谷 達也	小松崎 厚	鶴尾 純治	

行徳混声合唱団

ソプラノ	阿部都志子 鈴木 紫磨 橋本 晴美	内田真理子 谷津 佳子 牧野 滋子	岡本 佳子 辻本 富子 松本 孝子	川又 京子 西村 和泉 村山 典子	小島 こずえ 箱根 利恵
アルト	安藤 照子 神林 佑子 見谷 静枝	石井 淑子 佐藤 和子	伊藤 和子 永野 幸子	岩泉由紀子 野瀬富美子	金島 藤井 優子 礼子
テノール	大友 亀男	小川 幹彦	加藤 芳明	東谷 義敬	
ベース	石井 省二 山村 晟	神田 春彦	佐藤 正義	高田 峰幸	棚倉 浩一

市川交響楽団

ヴァイオリン	○福原 祥子 福原亜希子	石本 恵理	鈴木 淳子	堂本 祐司	松延 裕子
ヴィオラ	若林 繁	渡部 玲子			
チェロ	倉沢 由和	福原 耕二			
コントラバス	八鍬 健			○コンサートマスター	

合唱団紹介

コール・シュティム×

ソプラノ 有馬 歩 有馬 敬子 菊地 陽子 小林 千絵 関 光子

メゾソプラノ 赤松登美子 宇都宮和子 折茂 恵子 野口留美子

アルト 飯島 佳子 及川美智代 小畠 供枝 早川 瑞子 柳井 和美

私たちは、国立音楽大学を卒業し、千葉県に在住している有志のグループです。毎週金曜日、浦安で練習しています。学生時代の専攻はいろいろですが、声を合わせ、音を合わせ、心を合わせ、曲を創りあげていくのに魅力を感じ10年が過ぎました。橋本先生の厳しい指導とやさしい笑顔と、お互いの信頼を確認しながら歌い続けていきたいと思います。

福栄中学校合唱部

みなさんこんにちわ。私達福栄中合唱部は去年まで部員9名という小人数で活動していましたが、今年は1年生の入部が多く、現在27名で活動しています。「人に感動を与える歌を」をモットーに、毎日一生懸命練習にはげんでいます。普段の練習ではア・カペラ中心の曲をやっていますが、今回は久しぶりに伴奏のある曲も歌います。お聴き苦しい点もあると思いますが、精一杯うたいますので、どうぞお聴き下さい。

パブリケーション *Publication*

パブリケーションは優美なデザインとエレガントな色合いにオリジナルの要素をプラスして気品溢れるドレスをイージーオーダーでお届けします。ステージドレス「パブリケーション」との出合いが華やかさを演出してくれます。

カタログ請求、お問い合わせは、
フリーダイヤルをご利用下さい。

0120-10-2914

株式会社 奥山

〒116 東京都荒川区東日暮里6-45-6

FAX: 03 (3806) 1480

楽聖たちの故郷を訪ねて

市川混声合唱団 井関 裕義

5月の連休を利用して、予て念願のオーストリアへの旅を実現することが出来た。J. S. バッハを祖とする古典音楽が花と開いた十八世紀から十九世紀に掛けて、ウィーン（正しくはヴィーン Wien）の街にハイドン、モーツアルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどの巨匠たちが次々に輩出して、音楽史上に絢爛たる足跡を残したことは驚くべきことである。その一部なりとも辿ろうと願っての今回の旅であった。

（1） ウィーン中央墓地にて

ウィーンの東南7秆の地に広大な中央墓地があり、その第二門近くに楽聖たちの墓が立っている。あたりは新緑に包まれ、薄曇りの空から注ぐ柔らかい陽射しの下、彼等の墓標はひっそりと佇んでいた。

まず右手にヨハン・シュトラウス父子、その左にシューベルト、その手前にブラームス、そして中央にはモーツアルトの記念碑、その左にベートーヴェン、そしてその背後にグルックの墓があった。

ベートーヴェンの墓はメトロノームの形をして居り、メトロノームを初めて手にした彼が「これで自分の曲を正しいテンポで演奏して貰える」と大変喜んだという話は有名だが、あの厳めしい肖像画の楽聖の墓がメトロノームの形というのには微笑を誘われた。

そしてその右手にあるシューベルトの墓は、尊敬するベートーヴェンの墓の近くに葬って欲しいと願った遺言が実行されたのであろう。

モーツアルトだけは広く知られている通り、実際には何処に葬られているのか不明なので墓標の代わりに記念碑が立っている。この碑の前に立つと、映画「アマデウス」の埋葬の場面が思い出され、彼の絶筆となった「レクイエム」冒険の「Requiem eternam dona eis Domine 主よ彼等に永遠の安息を与えて下さい」という詞が自ずから浮かんで来るのだった。そよとの風もない、静けさに包まれた昼下がり、同行の人々と共に、夫々の物思いに耽る一刻であった。

（2） ザルツブルクにて

モーツアルトがコロレド大司教と衝突してウィーンに去るまで、ここに生まれ、ここに生活していたザルツブルクは美しい景観に恵まれた古都であった。夏のザルツブルク音楽祭には世界中から最高の正装を凝らした男女が集まって来ること。

まず訪れたのはモーツアルト生誕の家。小型のヴァイオリン、クラヴィコード、手書きの楽譜などが陳列されている。「三度の和音に聴き惚れるモーツアルト」として有名な三才の時の肖像画に描かれているクラヴィコードはこれであろうか。

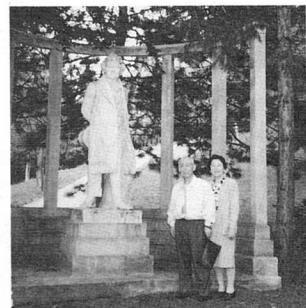
次に訪れたのは彼がウィーンに去るまで住んだ家で、第二次大戦中に焼けたのが再建されて記念館になっている。この再建費については彼等が村上先生も多額の寄付をされた由。

この記念館では、独・英・仏・日など各国語のイヤホーンが借りられ、部屋ごとに陳列品に合わせて曲とその解説が聞こえる仕組になっている。又三階には小ホールがあり、夜はそこで弦楽三重奏を聴くことができた。素晴らしい。

(3) ウィーンの森と郊外

ベートーヴェンの遺書で有名なハイリゲンシュタット、シューベルトが「菩提樹」を作曲した家、カラヤンの生家など色々見たが、特に印象深かったのは、ベートーヴェンが第六交響曲「田園」の曲想を得たとされる散歩道であった。人通りも途絶えた夕闇迫る道を地図だけを便りにやっと見付けた小川とその傍らの細い道、そしてその先にはベートーヴェンの石像が立っている。「ああこの道を歩きながら、あの田園が創られたのか」と思えば、誠に感慨深い思いがするのであった。

(4) 最後の夜、コンツェルトハウスで聴いたメンデルスゾーンのピアノ協奏曲一番、ベートーヴェンの第八交響曲、いずれも素晴らしいが、残念ながら紙数が尽きた。



合唱団員募集

市川混声合唱団、行徳混声合唱団では、初心者、経験者を問わず、団員を募集しています。

混声合唱の楽しみ、オーケストラとの共演の喜びをあなたも体験してみませんか。見学、お問い合わせ大歓迎です。

市川混声合唱団

練習日 毎週木曜日 午後7時～9時

練習場所 市川公民館 (JR市川駅北口 大門通り入口)

問い合わせ 中野かよ 0473(76)0433

行徳混声合唱団

練習日 每週火曜日 午後6時50分～8時50分

練習場所 行徳公民館 (東西線 行徳駅より徒歩6分)

問い合わせ 大友亀男 0473(57)6493

市川市 市民憲章

わたくしたちは 江戸川の流れと松の緑に象徴される郷土市川と その自然を愛し
由緒ある史跡と伝承をまもり育て 文教都市にふさわしく 教育と文化を重んじ
人間性豊かな調和のとれた明るいまちをつくるために つぎのことを定めます

1. きれいで 安全な より住みよいまちを つくります
1. 親切で あたたかい 希望にみちたまちを つくります
1. 教育と文化をそだて かおり高いまちを つくります
1. 健康で 楽しく働く たくましいまちを つくります
1. みんなの幸せを願い 豊かな福祉のまちを つくります

昭和52年11月3日制定

市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来45年の歩みを続け、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の爱好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体です。然も音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブでもありません。自分達の喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体として、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在であります。又、当協会は、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の5団体によって組織されております。市川交響楽団は昭和55年度のサントリー地域文化賞をサントリー文化財団より受賞、協会は昭和58年11月に文部大臣地域文化功労賞も受賞しました。

名譽会長	沼田 武
理事長	村上 正治
理事	飯島 延浩 中村 好成 井関 裕義
	岸本 英雄 古賀 正一 高橋 國雄
	丹沢 章浩 村岡 実 平田 博永
	三木 晴雄 茂木友三郎
	横田 行雄 村上 信乃
監事	最首 輝夫 山崎 文彦
評議員	飯島 茂彰 光岡 知足 安田 敬一
	本多 安仁 他23名
顧問	出光 昭介 白井日出男 奥山 浩
	佐々木信次 岩瀬 良三
	山本 孝也 山口 重直 他23名
参与	伊藤 一郎 伊藤 節 他110名
事務局長	星 乗昭

【市響賛助会員】

赤 松 憲	樹 恵	子 也	稔 子	人 誠	田 藤	雄 博	原 丸	博
東 千	行	治 久	夫 典	廣 一	井 崎	行 薫	前 三	子
阿 由	葉 行	孝 介	雄 勝	正 玻	新 城	武 弘	三 光	行
蚊 野	良 一	博 光	公 勝	璃 光	根 田	次 子	宮 篠	雄 彦
石 井	健 太 郎	正 介	ヨ 雄	克 末	水 泽	薰 郎	牧 村	足 雄
今 出	井 光	生 三 郎	三 二	順 孝	守 中	年 祐	村 村	之 一
出 岩	野 弥	節	邦 利	正 克	中 口	永 永	山 山	和 実
伊 伊	藤 藤	賢 勇	子 利	明 伸	中 道	子 雄	山 山	治 治
岩 飯	藤 藤	二 三	守 宏	道 橋	道 橋	仁 昭	安 安	峰 直
飯 飯	淵 島	和 浩	木 田	澤 池	澤 池	司 仁	湯 安	彥 彦
飯 飲	島 島	江 彰	大 川	谷 佐	川 佐	一 サ	吉 渡	一 亮
井 稲	関 葉	義 茂	川	下 畑	佐 佐	修 修	KMR	茂 郎

紀 敏	敏 敏	晴 慶	知 徹	弘 賢	正 孝	秀 重	文 善	敬 博
佐 原	原 木	木 木	宅 岡	地 輪 野	上 岡	上 本	名 口	崎 野
丸 前	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	三 三	田 田
松 前	原 木	木 木	宅 岡	地 輪 野	上 岡	上 本	名 口	浅 原
原 木	木 木	宅 岡	地 輪 野	上 岡	上 本	名 口	崎 野	田 田
山 前	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山
山 前	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	安 安
山 前	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	湯 吉 渡
山 前	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	KMRシステムズ
山 前	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	山 山	木 下 晴 義

花は
豊かな暮らしの
パートナー

フラワー 花農
ショップ

市川市南八幡4-8-15
TEL 0473(78)6814

【市響維持会員】

乃子子登子昭治子子一よ子鶴三淳穀朗子巳枝三子美子衛子文子明文郎明子子子雄代子子子雄子郎穏子治子郎之慧
 信葉恒 美正茂明厚榮ち道千敬 四綾博文有佐知幸藤悠 美智泰尚正宏文道嘉行光玲秋寿政清鉄木康輝三直
 上上林田木澤山山山川呂橋木原田本手手本本本口崎崎縣根下下川野崎淺井田田田川沢永辺部部本辺部久狭
 村村村村三元本本森茂八八安山山山山山山山山山山山山山矢矢湯湯横横横横吉吉吉渡渡脇渡渡和若
 子木子子子哲也子子子子祐巳子子子子潔一一七代尚光雄枝人子治人忠子子夫子子彥司守子子副子子博江一子子信秀子
 つや慶ち喜千幸淳か節寿康良禧澄克勝雄正竹千輝典義史瑞夫利裕浩隆照孝彰寿惠周滋愛保昇千伸昭富典
 川谷本藤部木澤野津田井本井井安谷屋山島上池野川田田井井延前丸本本谷間井山山上上岡落場宅宅井川浦里
 長林張塙半服花坂広深船船福藤藤平古古古藤淵堀星星前増増松松松松松松真真丸丸三三光水通三三三三美三宮
 男勇代久子徳子夫忠子子子朗吉育子一絵吉幸ト子行子子季子夫典之子子子子江郎生子子正代雄子子郎子子永子司子
 義君武郁正愛裕と美圃而利京耕美栄寛フ知光喜恵文茂修弘正芳淳幸晶孝陽弥令靜義政信美千征美牧芳富壯加紀
 井木木木木木原野沢沼貝西尾橋辺崎村代林内ス一山葉岡本鳴岡樺井藤井井野島真村村山村雲雲宮山村宮野田瀬川川
 桜鈴杉杉杉楓菅菅菅須高高高田田田竹竹ス種千鶴塚寺富富土内永永中中仲中中中中中中中中中中中中中中中中中
 夫子男清子夫久雄枝重厚代夫子郎稠夫子一子信子志宏雄治子野子雄夫夫勝久子郎子子店生三勲真博雄子信美枝子一子
 益嘉征千尚武和俊八和高信和尚孝賢佳篤美正基秀洋喜万龍俊久孝博彦和幸器幸雄太日孝秀珠君昭惣房啓
 村藤池井野嶋島島島堤暮塚塚田島藤井本本井間原井木藤藤藤藤野田太取取銀坂土倉川谷津根水藤守木木木木木木
 桑近小岩河小小小小越越塚小斎酒坂坂酒佐崎桜佐佐佐佐佐佐鹿鳴信白白白白赤下汲汲島島清進楫鈴鈴鈴鈴鈴鈴
 子子き一子子子子枝ミ作三子義男雄勉一子子子雄一徹真二郎子子子夫吾廣男枝彦子悟誠樹子彌夫子久子子夫子栄子
 和包ま修好徹順須晃春キ伸修和光孝好順優順玲忠榮俊二久優シ廣達真俊武一春洋英洋秀龍博富知久弦智優
 塚塚絵野田田本本原川熊倉澤蘭上島田津藤島井井藤井吉山合上部澤島合畠畠畠畠畠畠畠畠畠畠畠畠畠畠
 大大大岡岡岡岡岡萩小小小奥尾河河海加金龜亀加金金龜河川輕倉河川川川棍神神北北木木木絹絹櫛櫛工久久倉倉
 晁之弥胖子昭子賢子光志郎篠雄イ年雄春子子之理彈三拓稔子子一子男子夫子子子子至ま子男子子巳一稔子男宏
 成嘉忠紀常啓睦宏直宏美治ア保久正淑敏昭恵昇高千希泰慶一和暢幸次三由文雅裕た静と友幸久克京タ龟一
 木尾山山部甲戸沼沼井田本斎島島上井井井井黒本本原原川尻枅枅枅原藤藤藤藤田崎崎上下下嵐川田田本場堀野生竹友木
 青東春秋阿愛明浅浅新有天安飯飯池石石石石石石井一一市伊伊伊伊岩岩岩岩五十田宇浦梅梗大大大大大大

平成8年 市川交響楽団協会活動予定

平成8年 1.28	市川市内小中学生へのオーケストラ・クリニック	市川市文化会館
2.18	市川市文化会館10周年記念「市川・第9」演奏会 ベートーヴェン 交響曲第9番 ほか 指揮 山下一史 ソロ：西野 薫、平安克子、島津 煕、砂田直規	市川市文化会館
2.25	市川市文化集会 参加	市川市文化会館
3. 3	第251回「市川交響吹奏楽団コンサート」	市川市文化会館
3.20	第252回「室内楽の午後」	市川市文化会館
5. 5	第253回市響「市響ジュニアオーケストラ定期演奏会」 シベリウス 交響曲第2番 ほか 指揮 山崎 滋	市川市文化会館
5.18	音楽ギャラリー(クラリネット)	市川公民館
6. 2	千葉県合唱祭 出演	習志野市文化ホール
6. 2	コンクール課題曲演奏会	市川市民会館
6.16	県民の日記念「交響曲コンサート」参加	柏市民文化会館
6.30	第254回市響「日中交流交響楽の午後」 グリーグ／村上正治 「旅情組曲」 高 松華 ヴァイオリンとオーケストラの為の幻想曲 青木暢男 舞踏組曲「下田物語」より 霍 存慧 蹦蹦組曲第2番	市川市文化会館
7. 7	市川市平和コンサート	市川市民会館
7.13	音楽ギャラリー(管)	市川公民館
8. 2, 3	第2回青少年オーケストラフェスティバル 参加	東京文化会館
8. 4	全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会 参加	東京文化会館
8.25	第255回市響「納涼コンサート」	市川市文化会館
9.14	ちば文化祭 開会演奏	幕張メッセイベントホール
9.15	市響ジュニア・コンサート	柏市西原近隣センター
9.21	音楽ギャラリー(木管)	市川公民館
10. 6	第11回国民文化祭とやま'96「オーケストラの祭典」 参加	富山新川文化ホール
10. 6	第256回市響「合唱の集い」 指揮 村上正治 合唱 市川混声合唱団 行徳混声合唱団 他	市川市文化会館
11. 9	市川市合唱祭 参加	市川市文化会館
11.16	音楽ギャラリー(弦)	市川公民館
12.22	第257回市響「ファミリー交響楽コンサート」	市川市文化会館
12.22	クリスマスコンサート(ジュニア響)	市川公民館
平成9年 2.15	音楽ギャラリー(合唱)	市川公民館
2.22	第258回「市川交響吹奏楽団コンサート」	市川市文化会館
3. 2	リバーサイド・オーケストラフェスティバル出演	葛飾シンフォニーヒルズ
3.30	第259回「室内楽の午後」	市川市文化会館

全員合唱

作詩
六実治
作曲
堺海苔
編曲
上村正

里の秋

やさしく ♩ = 96
mp

1. じ すかーなーし すかーなーの の あ さ きう。
2. あ かまーいーあ かまーいーと と さ ほ う.
3. さ よなーらーさ よなーう や し の い ま

お な せ ど 一 に 一 さ き み も お う た が 一 は な
お ぬ せ ど 一 に 一 さ き み も お う た が 一 は な
お ぬ せ ど 一 に 一 さ き み も お う た が 一 は な

お ぬ ね 一 に 一 ゆ ら れ て お え う 一 れ 一 ろ
お ぬ ね 一 に 一 ゆ ら れ て お え う 一 れ 一 ろ
お ぬ ね 一 に 一 ゆ ら れ て お え う 一 れ 一 ろ

あ あ あ あ あ さ く 一 と あ だ ふ え た 一 か 一 お
あ あ あ あ あ さ く 一 と あ だ ふ え た 一 か 一 お
あ あ あ あ あ さ く 一 と あ だ ふ え た 一 か 一 お

あ あ と う さ く 一 よ こ み じ で 一 と
あ あ と う さ く 一 よ こ み じ で 一 と
あ あ と う さ く 一 よ こ み じ で 一 と

く り の み 一 に 一 ま す は い う 一 ほ 一 さ だ す
く り の み 一 に 一 ま す は い う 一 ほ 一 さ だ す
く り の み 一 に 一 ま す は い う 一 ほ 一 さ だ す

こ ん や も 一 が 一 さ と い の 一 り ま 一 す
こ ん や も 一 が 一 さ と い の 一 り ま 一 す
こ ん や も 一 が 一 さ と い の 一 り ま 一 す

dim.

里の秋

あかるい あかるい 里の秋
なきなきよがもの 渡る夜は
ああ とうさんどの あのえがね
栗の実 にてます いろづばた

しづかに しづかに 里の秋
ねむじに木の実の 落りる夜は
ああ かあさんと ただ一人
栗の実 にてます いろづばた

めむなひ やみなひ 鶴の島
ねむじに木の実の 渡る夜は
ああ じつやんみ い無事ひと
今夜せ かあさんと 祈つます

